

H25.7.22 岩槻城の歴史講習会



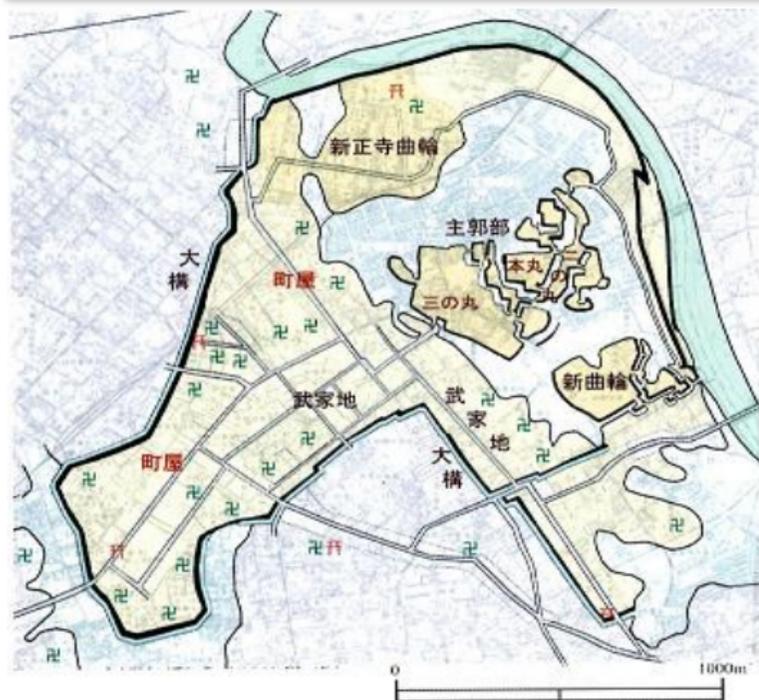
H25.7.22 岩槻城の歴史講習会



H25.7.22 岩槻城の歴史講習会



岩槻城の歴史



さいたま市立博物館発行
岩槻城と城下町より

I -1 時代の概念図

	180年間	40年間	265年間
時代	室町時代/戦国時代	(安土・桃山)	江戸時代
将軍	足利尊氏 →	豊臣秀吉	徳川家康 →
関東	関東管領扇谷上杉 ・ 後北条(小田原)	後北条 ・ 徳川家康	徳川幕府
岩槻城主	在地土豪の渋江 →太田→後北条	高力清長	高力・青山・阿部・板倉・ 戸田・松平・小笠原・永井・ 大岡

I -2 戦国時代の有名な戦い

	戦い名	年号(西暦)	概要
1	川中島の戦い	1553～1564	武田信玄と上杉謙信との戦
2	桶狭間の戦い	1560	織田信長が今川義元を破る
3	武田信玄関東侵攻	1567	後北条(小田原)を攻める
4	三方ヶ原の戦い	1573	武田勢の侵攻に徳川家康が挑む 大敗し居城に逃避
5	本能寺の変・山崎の戦い	1582	信長が明智光秀の謀反で討たれ、秀吉が弔い合戦勝利
6	しずヶ岳の戦い	1582・1583	豊臣勢と柴田勝家の戦い
7	小牧長久手の戦い	1584	秀吉と家康の戦い→和解
8	小田原城遠征	1590	豊臣勢が北条を攻め勝利

Ⅱ-1 中世の関東支配図



Ⅱ-2 成立期の岩槻城とその周辺



室町時代在地土豪の渋江氏が崎西郡渋江郷を支配 (金重～村国)

Ⅱ-3 岩槻築城の背景

- 享徳の乱(1478)で古河公方と幕府上杉方との軍事対決構図
- 崎西郡周辺(岩槻)が両勢力の前線
- 奥大道の荒川(現元荒川)渡河点要害の地
- 早い時期から扇谷上杉の勢力が岩槻に介入
- 扇谷上杉の家宰 太田道真・道灌に命じ築城させた城郭郡(江戸城・川越城・岩槻城)の一つと言われている
- 逆説:古河公方方の忍城 成田氏築城の説

Ⅱ-4 15世紀後半の勢力図



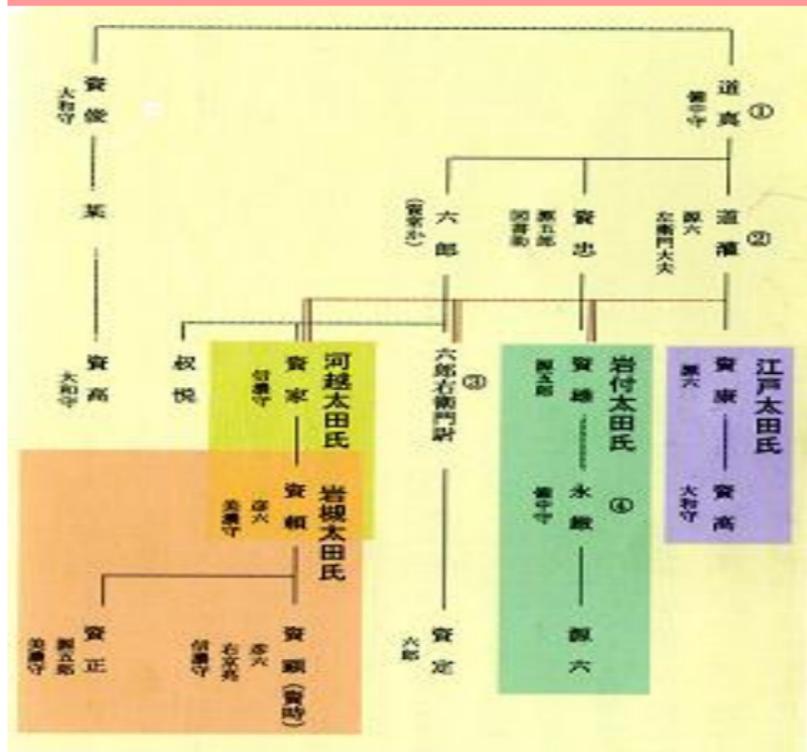
岩槻周辺が各勢力の
交差点

Ⅱ-5 北条氏綱(早雲の子)の台頭

「小田原城が本拠」

- 大永9年(1524)扇谷上杉領国への侵攻 → 江戸城攻略
- 家臣渋江三郎が北条氏綱へ内応 岩槻城を攻撃され太田資頼は石戸城へ逃げる 大永5年(1525)その後渋江三郎を破り岩槻城主復帰(1530)

Ⅱ-5 太田氏の系図(簡略)



- 岩槻太田氏

資頼

→ 資頼

→ 資正

* 平林寺について ホットタイム

- 永和元年(1375)に太田備州守(太田道灌の祖先 扇谷上杉の重臣)が臨濟禪の高僧 石室善久を招いて創建(崎西郡渋江郷金重村平林寺)
- 江戸時代に入り川越藩主松平信綱の遺志で 子輝綱が新座市野火止に移す(1663)
(信綱の父の墓)
- 現在岩槻には平林寺の地名と跡地の碑のみ

* 平林寺について



* 平林寺について



* 紅葉の平林寺（2012.11撮影）

ホットタイム



- 13万坪の境内林は国指定の天然記念物
- 10万本とも言われるモミジの紅葉はみごと
- 近郊と境内には武蔵野台地を潤した野火止用水が流れている
- 直線上に並ぶ総門・山門・仏殿・中門は県の有形文化財

Ⅲ-1 戦国の争乱と岩槻城

- 1522(大永4年) 岩槻太田資家・資頼 扇谷上杉方として初代岩槻城主
- 1524(大永6年) 北条氏綱に攻略され渋江三郎にとられる(資頼は石戸城へ逃げる)
- 1530(享禄3年) 渋江三郎を破り太田資頼の岩槻城主復帰以降 子の資顕・資正(川越 扇谷上杉方)
- 1547 北条氏の圧力に屈し講和関係(資正)
- 1564 資正は子の氏資により追放される

Ⅲ-2 関東での大きな戦い

- 1545 河越合戦

上杉憲政(関東管領)は北条氏康に敗れ越後に
上杉謙信は足利将軍より関東出兵の名分

- 1560 上杉謙信の関東出兵と小田原攻め

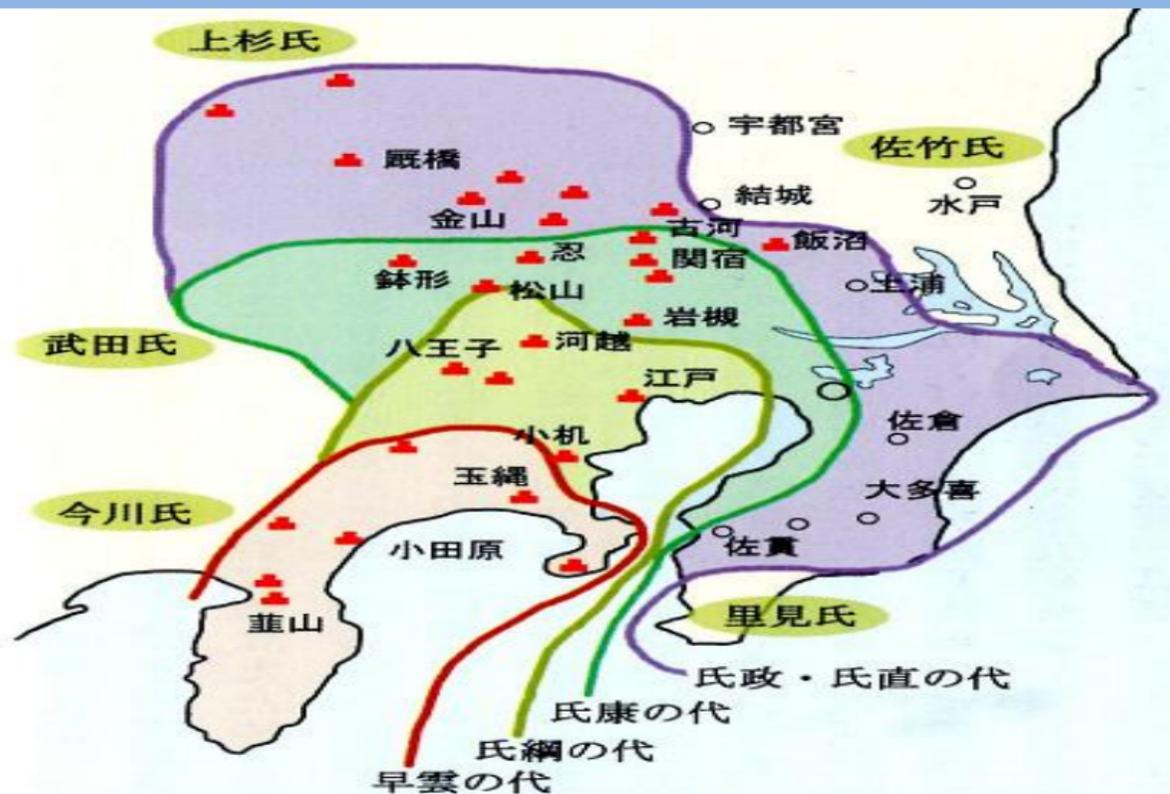
- 1561 松山の合戦

太田資正は反北条し連合の筆頭株として松山城を奪取

- 1562 武田信玄の関東出兵

北条氏康の要請で出兵 松山城を包囲

Ⅲ-3 後北条氏の勢力拡大図



Ⅲ-4 後北条氏支城としての岩槻城

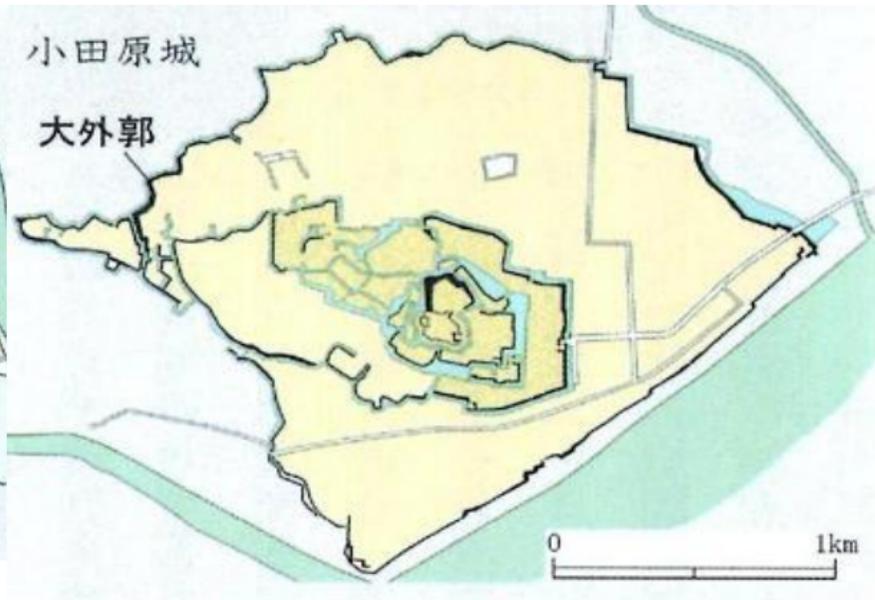
- 1567(永禄10年) 城主太田氏資戦死・直接支配
後北条氏の命で上総国里見氏と合戦・戦死
- 越相一和 後北条氏と謙信との講和条約、大田資正
親子の岩槻城復帰条文 実現できず
- 1570 北条氏繁(玉縄城主)を城代として派遣
- 1575 北条氏政の子 源五郎・氏房に太田姓
- 1577(天正5年) 岩槻出陣の編成(戦名?)
37奉行1580名の資料 大部分は太田氏の旧臣

Ⅲ-5 岩槻城の普請

- 1572(天正元年～) 8年をかけ北条氏政による土塁の構築 (豊臣秀吉勢力拡大の対応)
- 1582(天正10年～) 北条氏房が城主(8年間)
- 1586 豊臣秀吉「惣無事令」を翌年には後北条氏と伊達氏に服従命令の「関東・奥州惣無事令」を発したこの関係で後北条氏は防衛体制強化
- 北条氏房による岩槻城の土塁大構が完成

Ⅲ-6 岩槻城の大構

と小田原城の大外郭



Ⅲ-7 大構土塁と愛宕神社



Ⅲ-8 岩槻落城



豊臣勢の攻口（『北条記』『寛永諸家系図伝』
などより作成。ルートは想定）

1590(天正18年)

4月 松井田城・鉢形城・河越城・松山城・江戸城の落城

5月 岩槻城の落城

IV-1 徳川勢力下の岩槻藩主

- 1590(天正18年) 高力清長(2代)
岩槻城と所領2万石・預地1万石(浦和郷)
- 以降 青山忠俊 阿部正次(5代) 板倉重種
戸田忠昌 松平忠周 小笠原長重(2代)
永井直敬(3代) 大岡忠光(8代)
- 1756(宝暦6年)～1871(明治4年)の間8代 大岡家が岩槻城主となる
- 代々の藩主は幕府内の重職者(老中等)が多い

IV-2 将軍家の日光山参詣

と岩槻城宿泊

- 将軍家の日光参詣は元和3年(1617)に徳川家康の遺骸が日光山に改葬 東照社が成立 家康の命日(4月17日)に行われる祭事・法要に参列 → 日光社参と言った
- 三代将軍家光は祖父家康を崇敬 東照社を増改築(現東照宮の姿となる)
- 日光社参は19回(秀忠4回、家光10回、家綱2回、吉宗、家治、家慶)
- 岩槻城は将軍家日光社参時の宿泊所として利用され、将軍専用の御殿が常時あった

IV-3 岩槻の史跡・人物

- 岩槻にすぎたる物が二つあり児玉南柯と時の鐘
- 城址跡(公園・黒門)
- 浄安寺と槍返し門
- 龍門寺(藩主大岡忠光の墓(将軍の指示10万石の格式))
- 浄国寺(太田氏房の開創・藩主阿部家の墓)
- 慈恩寺(820年代慈覚大師の開山・近くに玄奘塔)
- 久伊豆神社(宮町) 岩槻の総鎮守として崇敬されていた
- 他

IV-4 岩槻の伝説

- 浄安寺のちご桜
- 時の鐘
- 槍返しの門(木戸門/浄安寺)
- 慈恩寺大師と慈恩寺
- 岩槻城築城の伝説
- 岩槻城落城の伝説
- 慶伝さま(川通)

他(岩槻の伝説より)

岩槻藩遷喬館



時の鐘



岩槻城門(黒門)



浄国寺



龍門寺



浄安寺



久伊豆神社



岩槻城跡(城址公園)



岩槻城跡



慈恩寺

